

新たな扉へのカウンタダウン

「合併へのカウンタダウン」サイン看板設置



平成十七年三月二十一日、新潟市を含む近隣十二市町村と合併する白根市。十一月一日、市役所正面玄関の柱に鮮やかな青色のサイン看板を設置しました。この看板で、合併前日までの日数を毎日カウンタダウンしていきます。

そこには「白根市四万市民が育んできた歴史・伝統・文化を引き継ぎ、更に魅力ある新しい都市づくりを目指します」との言葉や、市の誇りである風の絵柄なども刻まれ、合併後も白根市の魅力を存分にアピールしていくことを誓っています。

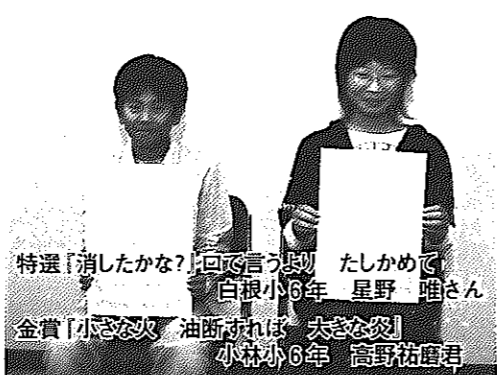
期待される交通渋滞の緩和



一般国道460号白井バイパス開通式
十月二十二日、本市と新津市を結ぶ国道460号の白井バイパスが完成し、開通記念式典が行われました。完成区間は、白根市農協白井支所脇から信濃川堤防上の県道白根・黒崎線につながる二百七十七メートル。平成三年の事業着手から、十四年の歳月と、事業費約三十億六千万円を投入し完成しました。

今後は、本市と新津市を結ぶ新たな橋の整備が課題となります。記念式典で吉沢市長は「一日でも早く橋ができるよう努力していきなさい」とあいさつしました。

小学6年生からのメッセージ



平成16年防火標語入選者表彰式
十一月八日、白根地域消防本部で防火標語入選者の表彰式が行われました。今年には管内十校の小学6年生から、四百五十七点の応募がありました。

当日は、小林消防長の「みなさんの標語を多くの人から見てもらい、防火意識の高揚に役立てたい」とのあいさつに続き、特選一人、金賞二人が表彰されました。

この日表彰された星野さんは「賞がもらえてうれしかった」とニコニコ顔。高野くんは「まさか選ばれるなんて」と受賞に驚いていました。

願うは自動セロー・きくわん・ふんりやんをばやせ



高規格救急車・救助工作車更新
白根地域消防本部では、十月二十日に高規格救急車を、また十一月九日に救助工作車を更新しました。

近年の複雑多様化した救急・救助活動を、的確・迅速に行えるよう、今回更新された高規格救急車には高度救命資機材を、また救助工作車にはクレーン装置やウインチ・照明等の救助資機材を導入しました。

消防本部では、皆さんの命を守るため、いつでも出動できるような待機しています。しかし出動がないのが一番。日ごろから交通安全、病氣予防、防災対策などに心掛けましょう。



忘れるな僕等の暮らしを守る税

平成16年度中学生の「税に関する標語」等表彰式

十一月五日、消防本部庁舎内で税に関する標語・作文の表彰式が行われました。これは、白根市租税教育推進協議会が中学生を対象に、税の大切さについて考えてもらおうと毎年募集しているものです。

今年には標語千百十六点、作文百九十一点が寄せられました。「明るい未来は税金で築かれる」との思いが、どの作品にも込められていました。

※タイトルの標語は関東信越国税局長賞を受賞した五十嵐君の作品です。また作文で新潟税務署長賞を受賞した山田君の作品は、十四ページ「みんなのページ」のコーナーで紹介しています。

●「税に関する標語」入賞者
 関東信越国税局長賞
 佳作 五十嵐亮(白根一中)
 新潟税務署長賞
 優秀 吉沢勇人(白南中)、坂井七彩(白根一中)、斉藤将成(白井中)、成田あすか(白根北中)
 佳作 星愛(白南中)、上杉静香(白根一中)、安沢智美(白井中)、水野弘規(白根北中)、土田智(同)
 「白根市長賞」
 河内ひかり(白南中)、長谷川貴大(白根一中)、海津麻美(同)、岩田紗緒梨(白井中)、小林雄河(白根北中)

●「税についての作文」入賞者
 新潟税務署長賞
 山田和弘(白根一中)
 「新潟地区納税貯蓄組合連合会長賞」
 福島達朗(白根一中)

文明の世界から原始の状態に。その時あなたは



地域防災を考える集い
白根市にもつめ跡を残した7・13豪雨災害を受け、十一月十日、白根学習館ラズベックホールで「地域防災を考える集い」が開催されました。

今年には豪雨災害のほか、史上最多の台風上陸、中越地震といった大災害が、新潟県に戦後最大級の被害を及ぼしています。この日講師を務めた新潟大学自然科学系・工学部の大熊孝教授は、「災害とは文明の世界から原始の状態に瞬間的に放り出されること」と解説。避難勧告や命令には限界があり、川に囲まれた白根市では、地域の助け合いや水防活動能力の向上が必須との訴えに、参加者は大きくうなづいていました。

ぼくたち・わたしたちの手で、安全・安心なまちづくり



白根地域幼少年婦人防火委員会10周年記念大会
平成六年に設立された白根地域幼少年婦人防火委員会。今年十周年を迎えたことから、十一月十四日、白根学習館ラズベックホールで記念大会が開催されました。

式典では小林消防長が「地域から火災の発生を予防しよう」を合い言葉に、安全・安心なまちづくりをしていきましょう」とあいさつ。その後、少年消防クラブ代表による「防火の誓い」の斉唱や、管内の園児がメンバーとなっている幼少年消防クラブの子どもたちによる歌や踊りなどが、大会を盛り上げていました。